

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	事業所の方向性を保ちながらも精神的に不安を抱える利用者に寄り添い自信や安心感を得るようにする福祉就労にも力を入れています
	内容	事業所では就労移行支援事業所等へのステップアップを支援していく事業所としての役割を基本として一定の成果を挙げてきました。同時に、数年来発達障害や精神面で不安を抱える利用者が増えており、その状況を踏まえて、一般就労へのステップアップは長期目標としながらも、まずは利用者自己肯定感や安心感を持ってもらうことを優先し、自信をもつことや自己の確立によって前向きに進む力が備わり、それが就職という社会生活を営む力を養うという福祉就労の充実にも力を入れていくことにしており、その方向性への進展が期待できます。
2	タイトル	個別支援計画をシステムティックに策定する仕組みを構築し、より利用者本人のニーズを掘り下げ反映した計画を作り上げています
	内容	職員体制が変わったことにより、これまでの支援の在り方を検証し、就職活動に入る前の精神的・身体的な安定を図ることを課題として捉え、自己肯定感を育むことで、ステップアップに繋げることとし、支援の指標となる個別支援計画を策定するシステムを見直しました。最初の計画は利用者とも最も関わりのある職員が原案を作成しサビ管が立案をし、その後は、作業・社会性・生活リズム・健康などについて簡単な評価を行い計画に落とし込むという、明確なPDCAサイクルが確立され、来年度からはもっと発展的な計画となるよう取り組んでいます。
3	タイトル	業務管理体制の変更といった事態にも職員の主体的な姿勢での取り組みが行われ、短期間でより良い体制への転換がなされています
	内容	事業所では昨年度に施設長を含む職員体制が変わったことにより、利用者に多少混乱が生じました。既存の職員が、自分自身何を行うべきかとその事態に主体的に取り組まれました。新施設長により、これまで情報共有されなかったことを職員全員で共有し、チームワークを強固とするといった気運が高まっているようであり、職員からも理解を得ているようです。今回の利用者アンケートでは80%以上が「満足」以上で「大変満足」が「満足」を上回る結果が示されています。職員アンケートでも調和のとれた結果が示されており、さらなる進展が期待できます。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	個々の利用者の特性等の理解を深め、支援上の留意点への肉付けを通して事業所が目指す支援のより良いサイクルの形成が期待されます
	内容	昨年度より個別の支援計画策定について、策定への流れを再確認しながらその業務の整理と職員への教育、職員参加での策定プロセス等を形作っていくことにし、法人全体で取り組んでいるPDCAサイクルによる支援の充実を図ろうとしています。初期段階ですので計画も簡潔に策定を行っていますが、それを個別の利用者に支援として活かす為に利用者の支援上の留意点を肉付けしていく必要性を感じているとのことです。個人の特性に応じて福祉就労に必要な特性等への理解の掘り下げや情報の集約を通じてより充実した支援がなされることに期待します。
2	タイトル	利用者へ支援の手を差し伸べるだけでなく、利用者が自分から発言をしたり主体的に活動ができる機会を設けることが期待されます
	内容	発達障害をはじめとして、当事業所を利用する利用者の障害特性も多様化しています。職員は利用者の特性をよく理解し、一人ひとりに合わせた丁寧な支援を行っています。そのため、利用者との信頼関係もしっかりと構築されていることが、利用者アンケートの満足度からも推察されます。利用者が困っていることを職員が支援するのは当然のことと思います。さらに、社会性を身につけるために一定のルールを守ってもらうことも大切かと思いますが、利用者の隠れた能力などを掘り起こし、利用者が主体的に活動できる機会を設けることも期待されます。
3	タイトル	義務化予定の業務継続計画について整備は行われていますので、職員への周知、共有に向けての研修実施等での進展や成果に期待します
	内容	リスクマネジメントではコロナ禍に対して「新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画」の整備も行われています。また納品や作業で使用する車輛の運転に関しては過去の事故の経験を踏まえて外部講師を招いての研修も実施して十分な注意を払うように指導を行ってまいります。3年の経過措置後の義務化となっている業務継続に向けた計画の策定や研修・訓練等の実施も計画の策定は既に行われていますが、職員への浸透も今一步のようです。今年度も研修を実施して職員への浸透を図る予定とのことです。その進展や成果に期待します。